

宮城県林業普及活動情報

2022. 7月号 No. 170

もくじ

各地の林業普及活動情報

P 2～11

- 竹まるごと活用料理教室打合わせ (大河原地方振興事務所)
- 林業機械の操作指導 (大河原地方振興事務所)
- 森と食の木育活動推進事業打合せ (大河原地方振興事務所)
- 仙南地域における苔栽培の実証試験 (大河原地方振興事務所)
- 竹まるごとプロジェクト まるごと「竹」体験の実施 (大河原地方振興事務所)
- ツヤハダゴマダラカミキリ被害情報地周辺の森林パトロールを実施 (仙台地方振興事務所)
- 原木しいたけ（露地栽培）の一部出荷制限解除のロット追加に向けて (仙台地方振興事務所)
- 名取市林業振興事業推進協議会研修会で森林整備の方針を説明 (仙台地方振興事務所)
- 森林環境譲与税の更なる活用に向けて (北部地方振興事務所)
- 大崎森林組合推進委員への補助事業活用等の働きかけ (北部地方振興事務所)
- 大崎東部地区の森林経営計画作成支援 (北部地方振興事務所)
- グループコンクール活動成果発表支援 (北部地方振興事務所)
- 苗畑実態調査の実施 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- ドローンを使用した伐採跡地の確認 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- 文字苔っこの会種蒔き作業支援 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- 苔玉講習会の支援による地域振興 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- 森林づくり団体への活動支援 (東部地方振興事務所)
- 「みやぎ海岸防災林・森林づくりイベント」の開催 (東部地方振興事務所)
- 「合板用納入原木に関する勉強会」の実施支援 (東部地方振興事務所)
- ドローン撮影画像を活用したシカ防除対策の推進 (東部地方振興事務所 登米地域事務所)
- 高校生の林業インターンシップ支援 (東部地方振興事務所 登米地域事務所)
- 月立小学校の総合学習への支援 (気仙沼地方振興事務所)
- 気仙沼市産マツタケの出荷制限一部解除に係る出荷者向け説明会の開催 (気仙沼地方振興事務所)
- 林業教室選択講座（チェーンソー）の開講 (林業技術総合センター)
- 緑の雇用1年目研修への支援 (林業技術総合センター)

竹まるごと活用料理教室打合わせ

大河原地方振興事務所

【1日(金), 21日(木)】

仙台市ガス局に提案していた丸森産のたけのこを使った料理教室及び丸森産の竹を活用した竹チップコンポストの普及について、実施に向けた前向きな回答があったことから、関係者による打合せを行いました。

打合わせの結果、令和4年11月10日(木)に、料理教室を開催し、たけのこの魅力を再発見していただくとともに、放置竹林の現状や、伐採竹を活用した竹チップコンポストのPRを行うこととなりました。

引き続き、関係機関と連携し、竹及びたけのこの活用と需要拡大に向けた取組について支援していきます。



【打合わせの様子】

林業機械の操作指導

大河原地方振興事務所

【4日(月)】

一般県民から、自己所有林地内の広葉樹を伐採するため、チェーンソーの操作方法や伐採について相談を受けたことから、メンテナンス方法や、基本的な操作を実演指導するとともに、伐採作業の留意事項についても説明し、林業機械の安全な操作等について理解が得られました。

今後も、安全な林業機械の操作等について指導・助言を行っていきます。



【操作指導の状況】

森と食の木育活動推進事業打合せ

大河原地方振興事務所

【27日(水)】

今年度から実施する「森と食の木育活動推進事業」について、木工製作者と今年度の進め方について打合せを行った結果、小学生向けの箸づくり体験及び、ファーストトイの試作に取組むこととなりました。

引き続き、一般県民に地域材の利用を働きかけるとともに、地域材利用の意義等の情報発信など、関係機関と連携し、県民等への普及啓発活動を行います。



【打ち合わせの様子】

仙南地域における苔栽培の実証試験

大河原地方振興事務所

【28日(木)】

川崎町内で苔栽培を予定している生産者が圃場整備を行い試験栽培を開始することから、種苔採取の調達等の活動支援を行いました。

引き続き種蒔き作業等の活動を支援するとともに、圃場の管理状況や生長量等について、定期的に調査し、指導・助言等を行っていきます。



【種苔採取の様子】

竹まるごとプロジェクト まるごと「竹」体験の実施

大河原地方振興事務所

【30日(土)】

イオン船岡店において、NPO法人あぶくまの里山を守る会と連携し、放置竹林問題についてのパネル展示や、竹あかりや竹スコープ制作、竹パウダーコンポスト体験など、「竹」体験のイベントを実施しました。

当日は、親子連れなど約30名が体験イベントに参加したほか、大型の竹あかりの展示や、竹けん玉など竹のおもちゃで遊ぶコーナーも設置したことから、多くの一般県民が、竹林が抱える問題や、竹の利用法について知っていただくことができました。

今後も、関係機関と連携し、竹を活用した資源循環について、一般県民に広く伝える取組みを支援していきます。



【竹あかり体験の様子】

ツヤハダゴマダラカミキリ被害情報地周辺の森林パトロールを実施

仙台地方振興事務所

【5日(火)】

ツヤハダゴマダラカミキリによる被害は、現在、公園や街路樹などでの発生情報が寄せられています。今後、森林等にも被害が拡大する可能性があることから、仙台市太白区泉崎の被害に類似しているとの情報が寄せられた地区の被害パトロールを実施しました。

パトロールによってツヤハダゴマダラカミキリのものと疑われる産卵痕、脱出穴等の痕跡は確認しましたが、成虫を確認することはできませんでした。

今後も引き続き被害パトロールを実施して



【確認した痕跡】

まいります。

原木しいたけ（露地栽培）の一部出荷制限解除のロット追加に向けて

仙台地方振興事務所

【6日(水), 19日(火)】

仙台市太白区及び泉区の露地栽培の原木しいたけ生産現場を調査し、安心・安全な生産管理が行われていることを確認しました。生産現場では放射性物質の影響を低減するように、麻袋や除草シートを敷いています。

出荷規制がかかっている地域の生産者は放射性物質対策を講じ、安心・安全な原木しいたけの生産を行っています。店頭で見かけた際には是非お手にとってみてください。



【麻袋を敷いて管理されるホダ木】

名取市林業振興事業推進協議会研修会で森林整備の方針を説明

仙台地方振興事務所

【27日(水)】

名取市の共有林などの森林所有者の代表者から構成される林業振興事業推進協議会の研修会が開催され、当事務所から森林整備に関する県の方針及び補助制度について説明を行うとともに、管内の林業事業者から森林整備の現状に関する情報提供がありました。

高齢級間伐による長伐期化から皆伐再造林への方針転換について、森林所有者にとっては大幅な転換だとの意見もありましたが、一貫作業システムによる造林や、育林作業の削減によりコストを抑え、主伐時の所有者への還元額を増やすといったメリットと併せて説明し、周知を図ることができました。



【研修会の様子】

森林環境譲与税の更なる活用に向けて

北部地方振興事務所

【4日(月), 8日(金)】

森林環境譲与税の更なる活用に向けて、令和4年度分の事業化を推進するため、補正予算による事業化検討等について、説明を行いました。

事前に担当者へ説明した後、町長へ直接御説明する機会を得て、令和4年度補正予算による事業化に向けて前向きに検討いただくこととなりました。



【説明の様子】

大崎森林組合推進委員への補助事業活用等の働きかけ

北部地方振興事務所

【12日(火), 13日(水), 14日(木)】

大崎森林組合の推進委員会において、「みやぎの森林・林業」、「再造林に係る補助事業」等を説明する機会を得て、普及指導員が分担して3日にわたり対応しました。

パンフレットによる説明を行い、多数の方々には現状を把握していただくとともに、再造林に係る補助事業の概要理解していただくことができました。

今後も森林組合の御協力を得ながら、機会を捉えてPR等を行ってまいります。



【推進委員会での説明】

大崎東部地区の森林経営計画作成支援

北部地方振興事務所

【20日(水)】

大崎東部地区は、小規模・零細な森林所有者が多く、森林経営計画作成し集約化による効率的な森林整備を進める必要があります。4月に引き続き、大崎市の事業体が森林経営計画作成を進めるための支援を行いました。

区域計画策定候補者1名に対して、制度の説明や計画作成後の取り扱い（メリット、デメリット等）を説明する事業体を補佐し、相手方から計画作成を進めることについて理解を得ることができました。

今後、事業体が現地確認等を行い、計画作成を進める中で必要に応じて支援します。



【森林所有者への説明】

グループコンクール活動成果発表支援

北部地方振興事務所

【14日(木), 28日(木)】

今年度の北海道・東北ブロックグループコンクールで活動成果を発表することとなった岩出山林業研究会の発表原稿の作成を支援しました。

原稿素材から発表用原稿を作るため「全体構成」、「内容」、「使用する写真の選定」等について意見を出し合いました。

出来上がった原稿案の更なる内容充実を図るため、8月の締切りギリギリまでブラッシュアップを支援します。



【原稿案（パワーポイント）確認の様子】

苗畑実態調査の実施

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【11日(月)】

今年度春期の定期調査を実施しました。その結果、一部の苗畑において水はけが悪く生育不良が見受けられたため、苗箱を底上げするなど通水を良くする工夫をするよう指導しました。

苗畑は、2年生が中心で裸苗は1生産者のみでした。種の直播きを行っている苗畑もあり、多粒撒き、1粒撒き及び2粒撒きなど試験施行しており、発芽率の結果に注目しています。



【スギ苗生育状況確認】

ドローンを使用した伐採跡地の確認

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【20日(水)外4日間】

市が行う伐採届出による照査について現地での状況確認を支援しました。大面積皆伐地は、事務所のドローンを使用して上空から撮影しました。

伐採届出による照査は現地で状況を把握する必要がありますが、大面積皆伐地や近くまで行けない事案もあることから、ドローンを使用した調査も進めています。

しかし、天候不順により飛行できなかつたり、離陸地点の事前把握など、時間的ロスを少なくする工夫を要するものとなりました。

市では、年間約200件の伐採届出を受理しており、人員不足等から全箇所への把握が出来ないところから、県による調査支援は大変助かるとのことでした。



【市役所で伐採件数を確認】



【ドローンを使用して伐採跡地を確認】

文字苔っこの会種蒔き作業支援

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【3日(日)】

栗駒文字地区の生育環境に適した苔について試験を行っていくため、毎年行われている表記団体の種蒔き作業の支援を行いました。

当日は、ウマスギゴケ120箱、ヒノキゴケ、ハイゴケ、コウヤノマンネングサ各30箱の種蒔き作業を行い、圃場へ設置しました。

会設立から3年目を迎え、引き続き活動支援を行っていきます。



【苔の種蒔き作業の様子】

苔玉講習会の支援による地域振興

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【6日(水), 29日(金)】

これまで苔玉講習会の講師要請には、県職員が対応してきましたが、地域の人材活用による地域振興・活性化に向け、日頃多くのクラフトワーク教室を開催している「こもれびの森・森林科学館」に打診したところ快諾が得られたので、鶯沢地区及び築館地区の社会福祉協議会が主催する苔玉講習会で県と共に講師をお願いしました。

9月は、一迫・花山地区の社会福祉協議会主催の苔玉講習会が森林科学館を会場に開催されることとなったほか、栗原市内の各行政区から問い合わせが多く寄せられ、地域の人材を活用したことで予想以上の反響がありました。

今後も、地域の人材を活用し、地域に根ざした地域振興・活性化を進めます。



【普及指導員もスタッフとして支援】

森林づくり団体への活動支援

東部地方振興事務所

【4日(月)】

みんなの森林づくりプロジェクト推進事業に取り組む2活動団体の事業箇所を事務局(県緑化推進委員会)と訪問し、留意点や記録方法などを説明するとともに、現地状況や取組内容を確認し、円滑な事業管理をお願いしました。

各団体は、学校の森林活動や水源地整備を目的として人工林間伐などを行うもので、当方からはモニタリング箇所の設定や作業写真の記録方法を重点的に解説しました。また、実際の作業では、安全を最優先とし、単独での作業や無理な機械操作を行わないことなど



【活動区域の確認状況】

をお願いしました。

「みやぎ海岸防災林・森林づくりイベント」の開催

東部地方振興事務所

【23日(土)】

東松島市大曲地区の海岸防災林について、地域住民との連携・協働による維持管理体制を構築するため、令和3年度から様々なイベントの実施により、海岸林へ親しんでもらっています。

第5回となる今回は、地域の小学生が主な参加者で、まず、地元で立地する合板・パーティクルボード工場を見学し、木材が利用されていく様子を見学しました。午後は宮城北部流域森林・林業活性化センター石巻支部の職員が講師となり、地域材を用いた木工工作を体験してもらうことで、身近な環境を守り育てる大切さを理解してもらいました。



【木工ワークショップ】

「合板用納入原木に関する勉強会」の実施支援

東部地方振興事務所

【25日(月)】

県林業公社では、収穫期の持続的な森林経営に向けた林産事業を推進するため、合板用材の供給に資するセミナーを検討していたことから、当管内の合板工場での原木に関する研修を企画調整しました。

現地研修では合板工場の貯木場において、合板原料として不適格な素材の実例や、直径ごとの最適な採材方法などを工場側から説明いただき、具体的な素材ニーズを実感してもらいました。

林業公社では今後、伐採適地の林分把握や、採材管理を進めることで、円滑な事業推進を図ることとしており、今後ともこれらの取組を支援しています。



【貯木場での適合素材の研修】

ドローン撮影画像を活用したシカ防除対策の推進

東部地方振興事務所 登米地域事務所

【12日(火)】

管内で被害が拡大しているニホンジカによる苗木の食害を防止するため、登米市及び登米町森林組合の担当者と共に、ドローンで撮影した造林地の画像を見ながら、周辺森林や現地の地形条件を踏まえた防除対策について検討しました。現地の詳細な画像により、地形の起伏や周辺森林との位置関係が明確になり、防鹿柵で対応すべき箇所と単木防除で対応すべき箇所を把握できました。

画像上で防鹿柵の施工延長や単木防除実施面積を容易に算出可能であるため、概算事業費についても確認できました。



【ドローン撮影画像をもとにした検討状況】

高校生の林業インターンシップ支援

東部地方振興事務所 登米地域事務所

【13日(水)】

津山町林業研究会が主催する林業インターンシップに協力し、古川工業高等学校の高校生(建築科)に対して植栽体験で使用予定であったスギコンテナ苗(少花粉・挿し木)について説明したほか、低コスト造林の推進に寄与する成長の早い特定母樹についても紹介しました。

津山町森林組合による獣害対策を踏まえた低コスト造林の紹介を通して、環境に適応した造林・保育の必要性を認識いただいたほか、スギ花粉症対策のため近年植栽が増加している少花粉スギ品種や無花粉スギ品種の特徴等について理解してもらいました。



【スギコンテナ苗の紹介】

月立小学校の総合学習への支援

気仙沼地方振興事務所

【19日(火)】

気仙沼市立月立小学校で行っている総合学習において山の活用と発展をテーマとした授業を5・6年生計7名(5年生5名、6年生2名)に対して実施しました。

講義では、森林の多様な役割のほか、木を植え・育て・収穫して活用するサイクルを継続させることの必要や、伐採された木材が建材のみならず、地域のエネルギーに活用されていることを説明しました。

今回の活動により、森林が持続可能な資源であることへの理解の醸成が図られたほか、



【総合学習の様子】

森林管理に関する担い手や、森と海との繋が
りなど、地域の森林・林業への興味を深める
ことができました。

気仙沼市産マツタケの出荷制限一部解 除に係る出荷者向け説明会の開催

気仙沼地方振興事務所

【25日(月)】

気仙沼市産マツタケが令和3年9月に一部
出荷制限解除されて、出荷再開の2年目を迎
えるに当たり、非破壊検査機(1台)の追加や、
検査場所の変更などが生じたことから、気仙
沼市と調整の上、今年度の検査及び出荷体制
について関係者向け説明会を開催しました。

出荷者からは、全量検査に当たり、2台体
制となることを踏まえての検査頻度の増や、
市場の休みを考慮した体制整備を図るよう意
見があったほか、認証登録者以外の採取者
に対する取締りへの意見が寄せられました。

今後、関係機関との細部の調整を進め、安
心・安全な出荷・検査体制の整備が図られる
よう取り組みを進めていきます。



【説明会の様子(45名が参加)】

林業教室選択講座(チェーンソー)の 開講

林業技術総合センター

【11日(月)】

8名の受講生を得て標記講座を開講しまし
た。はじめエンジンを掛けずに切れ込みの入
った丸太にガイドバーを出し入れし水平・垂
直切りの技能の習得を重点的に行いました。そ
の他、チェーンソーの sprocket・ガイド
バー・ソーチェンの規定サイズの種類の見
方、ソーチェンの研ぎ方及び伐倒方向の錯視
の原因について理解頂き、玉切り実技を実施
することで、知識と技能の相違と反復練習の
必要性について理解を得ました。

今後も林業従事者の育成を支援します。



【基本動作の反復練習の様様】

緑の雇用1年目研修への支援

林業技術総合センター

【19日(火), 20日(水), 21日(木)】

県林業労働力確保支援センターから林業作業士1年目研修の講師依頼があったことから、コンパス測量、間伐実践、測樹方法を教示しました。

【研修の内容】

(19日)

牛方式コンパスの使用方法等に関する学科及び4班に分かれての敷地内測量・図化・誤差修正・面積計算に関する実技を実施しました。

(20日)

間伐の基礎知識及び輪尺と測幹を用いた測樹方法に関する学科及び2班に分かれての標準地調査・相対幹距比を用いた間伐対象木の選木・樹高曲線グラフの作成・間伐材積等の求積等に関する実技を実施し、最後に「宮城県間伐シミュレーションソフト」の利便性を紹介しました。

(21日)

造林・保育の基礎知識及びワイゼー測高器・ブルーメライス・バーテックスの使用方法に関する学科と2班に分かれての直径巻尺とバーテックスを用いた標準地調査・間伐材積の求積に関する実技を実施し、現実林分の施業方法を検討しました。また、本研修に必須の「宮城県民有林材積表および林分収穫表(林業振興課)」を配布しました。途中、明るい広葉樹林内でニイニイゼミの鳴き声が凄まじくバーテックス(超音波計測器)が誤動作しましたが、スギ林内では動作が安定しました。当初原因が分からず戸惑いましたが、研修を無事に終え安堵しました。

今後も林業従事者の育成を支援します。



【コンパス測量の実技】



【標準地調査(輪尺・測幹)の実技】



【標準地調査(直径巻尺・バーテックス)の実技】